

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場会社名 株式会社A.Cホールディングス 上場取引所 大
 コード番号 1783 URL http://www.ac-holdings.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 武司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役情報管理責任者(氏名) 竹澤 清 (TEL) 03-5473-7722
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日~平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	1,723	17.1	△107	—	△99	—	△26	—
24年9月期第2四半期	1,472	—	△195	—	△398	—	△367	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 15百万円(—%) 24年9月期第2四半期 △362百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	△0.67	—
24年9月期第2四半期	△9.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	8,438	7,420	87.9
24年9月期	8,631	7,405	85.8

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 7,420百万円 24年9月期 7,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	—	—	0.00	0.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日~平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,335	5.3	△129	—	△105	—	△40	—	△0.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	42,442,851株	24年9月期	42,442,851株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	2,000,695株	24年9月期	2,000,695株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	40,442,156株	24年9月期2Q	40,442,156株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おきください。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月の政権交代を契機として、輸出環境の改善や金融政策の効果等を背景に株価が上昇するなど景気改善傾向にあるものの、キプロスの財政・金融危機問題など海外景気の下振れが引き続きリスクとなり、雇用・所得環境についてはいまだに注意が必要であり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、建設事業においては一部工事の進捗遅れや変更工事の受注遅れの影響がありましたが、ゴルフ・リゾート事業において売上高の増加、および第1四半期連結会計期間にリアルエステート事業において販売用不動産の売却を実施したため、売上高は前年同四半期と比較して2億51百万円増加し、また、全体的な経費の削減、建設事業における工事原価率の減少もあり、営業損失は前年同四半期と比較して88百万円減少いたしました。

経常損益に関しましては、当第1四半期連結会計期間に持分法による投資損失39百万円が発生いたしました。当第2四半期連結会計期間に持分法による投資利益38百万円を計上いたしました。

さらに、純損益につきましては、固定資産(賃貸用不動産、および福島空港GOLF CLUBの土地・建物)の譲渡により、特別利益1億円を計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高17億23百万円(前年同四半期売上高14億72百万円)、営業損失1億7百万円(前年同四半期営業損失1億95百万円)、経常損失99百万円(前年同四半期経常損失3億98百万円)、四半期純損失26百万円(前年同四半期 四半期純損失3億67百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

①ゴルフ・リゾート事業

ゴルフ・リゾート事業におきましては、営業努力による売上高の増加とともに経費削減効果により営業損失は減少しております。この結果、売上高5億57百万円(前年同四半期売上高5億41百万円)、営業損失1億48百万円(前年同四半期営業損失2億19百万円)となりました。

②ファイナンス事業

ファイナンス事業におきましては、前連結会計年度より実施した貸金業の撤退及びリース業の見直し等により、売上高4百万円(前年同四半期売上高4百万円)、営業利益18百万円(前年同四半期営業利益7百万円)となりました。

③建設事業

建設事業におきましては、一部工事の進捗遅れや変更工事の受注遅れの影響で売上高が減少しましたが、一方工事原価率、販売費及び一般管理費も減少しました。この結果、売上高6億80百万円(前年同四半期売上高8億93百万円)、営業利益8百万円(前年同四半期営業利益0百万円)となりました。

④リアルエステート事業

リアルエステート事業におきましては、公示地価やオフィス賃貸の低迷により厳しい状況を迎えておりますが、当第1四半期連結会計期間において販売用不動産の売却を実施しました。この結果、売上高4億82百万円(前年同四半期売上高34百万円)、営業利益12百万円(前年同四半期営業利益14百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1億92百万円減少し、84億38百万円となりました。

流動資産は6億14百万円増加し44億43百万円、固定資産は8億6百万円減少し39億94百万円となりました。流動資産増加の主な内訳は、販売用不動産の売却により4億43百万円減少した一方、現金及び預金が11億53百万円増加したことによります。

固定資産の減少の内訳は、有形固定資産の減少7億25百万円、無形固定資産の減少1百万円、および投資その他の資産の減少79百万円であります。このうち、有形固定資産減少の主な要因は、賃貸用不動産及び福島空港GOLF CLUBの土地・建物の譲渡により建物及び構築物が2億3百万円減少し、土地が5億17百万円減少したことによります。投資その他の資産減少の主な要因は、貸倒引当金が25百万円増加し、長期貸付金が22百万円減少したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億7百万円減少し、10億18百万円となりました。流動負債では支払手形・工事未払金等が1億29百万円減少し、固定負債では退職金規程の見直しにより退職給付引当金が39百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて15百万円増加し、74億20百万円となりました。純資産増加の主な要因は、四半期純損失の計上により利益剰余金は減少した一方、その他有価証券評価差額金および為替調整勘定が増加したことによります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ11億53百万円増加し、37億78百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は2億44百万円(前年同四半期は1億93百万円の減少)となりました。主な要因は、減少要因として仕入債務の減少額1億29百万円、増加要因としてその他たな卸資産の減少額4億48百万円、売上債権の減少額1億2百万円等があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は9億9百万円(前年同四半期は1億25百万円の減少)となりました。主な要因は、増加要因として有形固定資産の売却による収入8億10百万円、投資有価証券の売却による収入86百万円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加又は減少はありませんでした。(前年同四半期もありませんでした。)

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出環境の改善や金融政策の効果等により景気改善傾向にあるものの依然として先行き不透明な状況が続いております。このような状況の下、当社グループは、建設事業において一部工事の進捗遅れや変更工事の受注遅れの影響及び当社の関係会社（株式会社テークスグループ）の平成25年2月期決算に基づき、持分法による投資損失が38百万円減少したため、平成25年2月7日付にて公表しました業績予想を修正いたしております。

1. 平成25年9月期第2四半期連結累計期間（平成24年10月1日～平成25年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想	1,846	△105	△133	△63	△1円58銭
今回発表予想	1,723	△107	△99	△26	△0円67銭
増減額	△123	△2	34	37	—
増減率（%）	△6.66	—	—	—	—
（ご参考） 平成24年9月期 第2四半期累計期間実績	1,472	△195	△398	△367	△9円08銭

2. 平成25年9月期通期（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想	3,457	△127	△139	△73	△1円81銭
今回発表予想	3,335	△129	△105	△40	△0円99銭
増減額	△122	△2	34	33	—
増減率（%）	△3.55	—	—	—	—
（ご参考） 平成24年9月期実績	3,284	△290	△491	△611	△15円11銭

（注）今回の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績につきましては、これらの予想数値と異なる場合があります。なお、詳細は平成25年5月9日公表の「持分法による投資損失（連結）の減少及び平成25年9月期第2四半期累計期間（連結・個別）、通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社である株式会社福島空港GOLF CLUBは、平成25年3月31日付けをもって解散し、現在清算中であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,625,187	3,778,261
受取手形・完成工事未収入金等	546,603	444,568
商品	12,591	9,720
材料貯蔵品	14,406	12,546
販売用不動産	467,651	24,023
その他	185,289	196,832
貸倒引当金	△21,939	△21,973
流動資産合計	3,829,790	4,443,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	755,644	551,969
機械装置及び運搬具（純額）	29,788	27,048
工具、器具及び備品（純額）	11,936	9,632
土地	2,868,566	2,351,327
建設仮勘定	840	1,638
有形固定資産合計	3,666,775	2,941,615
無形固定資産		
その他	14,138	12,281
無形固定資産合計	14,138	12,281
投資その他の資産		
関係会社株式	800,202	818,632
長期貸付金	343,350	320,550
その他	284,340	234,718
貸倒引当金	△307,285	△332,850
投資その他の資産合計	1,120,607	1,041,051
固定資産合計	4,801,521	3,994,948
資産合計	8,631,311	8,438,927

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	436,248	306,908
未払法人税等	15,793	10,484
賞与引当金	3,631	1,382
ポイント引当金	20,302	19,656
その他	246,446	239,372
流動負債合計	722,421	577,805
固定負債		
退職給付引当金	171,765	132,135
役員退職慰労引当金	6,524	3,264
資産除去債務	2,012	2,024
その他	323,251	303,200
固定負債合計	503,554	440,624
負債合計	1,225,976	1,018,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	5,650,811	4,577,779
利益剰余金	△1,093,658	△47,593
自己株式	△604,076	△604,076
株主資本合計	7,453,076	7,426,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,105	△52
為替換算調整勘定	△25,635	△5,560
その他の包括利益累計額合計	△47,740	△5,612
純資産合計	7,405,335	7,420,497
負債純資産合計	8,631,311	8,438,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	1,472,402	1,723,506
売上原価	892,552	1,122,878
売上総利益	579,849	600,628
販売費及び一般管理費	775,480	708,092
営業損失(△)	△195,630	△107,463
営業外収益		
受取利息	6,626	3,878
受取給付金	1,815	1,924
投資不動産賃貸料	17,871	9,756
その他	18,276	10,943
営業外収益合計	44,589	26,503
営業外費用		
持分法による投資損失	205,571	1,673
投資不動産賃貸費用	29,444	10,274
その他	12,077	6,840
営業外費用合計	247,094	18,788
経常損失(△)	△398,134	△99,749
特別利益		
固定資産売却益	107	100,012
受取補償金	29,348	—
競売による配当益	4,951	—
その他	107	—
特別利益合計	34,515	100,012
特別損失		
投資有価証券売却損	—	23,261
固定資産除売却損	204	0
その他	—	1,004
特別損失合計	204	24,265
税金等調整前四半期純損失(△)	△363,823	△24,002
法人税等	3,476	2,963
四半期純損失(△)	△367,299	△26,966

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
四半期純損失(△)	△367,299	△26,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,859	22,025
持分法適用会社に対する持分相当額	△766	20,103
その他の包括利益合計	5,093	42,128
四半期包括利益	△362,205	15,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△362,205	15,162

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△363,823	△24,002
減価償却費	41,503	30,142
貸倒引当金の増減額(△は減少)	107	△15,698
その他の引当金の増減額(△は減少)	△23,652	△38,258
受取利息及び受取配当金	△6,626	△3,878
持分法による投資損益(△は益)	205,571	1,673
固定資産売却損益(△は益)	△107	△100,012
固定資産除却損	204	0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	23,261
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,004
競売による配当益	△4,951	—
受取補償金	△29,348	—
リース投資資産の増減額(△は増加)	5,134	2,295
売上債権の増減額(△は増加)	△60,776	102,035
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	4,485	448,359
未収入金の増減額(△は増加)	37,428	△17,405
仕入債務の増減額(△は減少)	42,211	△129,339
未成工事受入金の増減額(△は減少)	5,216	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,166	7,874
その他	△32,649	△40,751
小計	△171,906	247,299
利息及び配当金の受取額	6,626	3,878
補償金受取額	29,348	—
利息返還額	△50,524	—
法人税等の支払額	△6,639	△7,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	△193,095	244,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,013	△13,267
有形固定資産の売却による収入	325	810,914
投資有価証券の売却による収入	—	86,419
無形固定資産の取得による支出	△6,231	—
貸付けによる支出	△200,000	—
貸付金の回収による収入	116,310	21,470
その他	2,394	3,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,215	909,042
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△318,311	1,153,074
現金及び現金同等物の期首残高	2,864,023	2,625,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,545,712	3,778,261

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナ ンス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエ ス テート事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	541,559	2,822	893,101	34,918	1,472,402	—	1,472,402
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,813	—	—	1,813	△1,813	—
計	541,559	4,636	893,101	34,918	1,474,215	△1,813	1,472,402
セグメント利益又は 損失(△)	△219,108	7,433	790	14,824	△196,060	429	△195,630

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度の9月をもって、インベストメント事業から撤退しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナ ンス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエ ス テート事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	557,527	2,771	680,596	482,611	1,723,506	—	1,723,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,531	—	—	1,531	△1,531	—
計	557,527	4,302	680,596	482,611	1,725,038	△1,531	1,723,506
セグメント利益又は 損失(△)	△148,156	18,828	8,874	12,536	△107,916	452	△107,463

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。